

地域人材ネット

地域・住民の自治力向上をベースとするまちづくり・地域づくり

吉田 道郎 (よしだ みちろう)

(株)梵まちづくり研究所 代表取締役



○ 登録者情報
所在地

東京都新宿区

略歴

早稲田大学理工学部建築学科卒、同大学院(都市計画専攻・後藤春彦研究室)修了。
まちづくりプランナーとして各地の地域計画・観光活性化・都市計画・景観デザイン・建築設計等に携わる。都市計画コンサルタント勤務、小田原市政政策総合研究所特定研究員、早稲田大学都市・地域研究所招聘研究員、熱海市観光戦略プロデューサー等を経て、株式会社梵まちづくり研究所設立。

(資格)

- ・一級建築士
- ・技術士(建設部門:都市及び地方計画)

(登録)

- ・地域力創造アドバイザー
 - ・東京都観光まちづくりアドバイザー人材バンク
- (受賞:設計)
- ・合志町すずかけ台公園トイレ(グッドトイレ10グランプリ,1998)
 - ・城崎温泉木屋町小路(グッドデザイン賞・都市計画学会計画設計賞等,2008)

著書・論文等

医学を基礎とするまちづくり(調査協力、水曜社、2014)

まちづくりブック伊勢(共著、学芸出版社、2000)

まちづくりの伝道師達—宮原発!! 小学生からはじまるまちづくり(共著、第一法規、2007) 観光まちづくりへのトライアル—熱海市観光戦略室の取り組みとマネジメント力の萌芽(季刊まちづくり29号、学芸出版社、2010)

新しいガバナンスのかたちを探る—兵庫県城崎町から(季刊まちづくり2号、学芸出版社、2004) まちなみ協議ツールとしての「まちなみカルタ」の開発—みなかみ町湯原地区(日本建築学会技術報告集第26号、2007)

靴を脱ぐ公衆トイレでまちづくり(BIOCity16号、ピオシティ、1999)

〇 地域・住民の自治力向上をベースとするまちづくり・地域づくり

取組の内容

住民自らが主体的に、地域の資源を改めて認識し、目標像を議論して、方向性を共有し、具体的事業に取り組みながら、コミュニティとしての自治力を高めて行く、その結果として規律と生活感のある地域空間・景観が形成されてくることを理想としています。それをサポートする役目として各地からの依頼を受けて業務を行っています。

住民参加・住民参画による自治体計画策定、マスタープラン策定、コミュニティ計画策定、景観協定締結、景観形成事業運営、公共空間デザインなどを、地域資源発見やグループ討議のワークショップ等の手法を用いて進めています。近年は観光地からの依頼が多く、観光資源発見と磨き上げのためのワークショップや取り組み、観光経済活性化のための具他の事業のサポートなどを行っています。



住民会議ワークをデザイン(埼玉県和光市)



新たな地域拠点「どどんこ館」をデザイン(宮城県加美町)

実績

- 総合振興計画策定(市民・職員ワークショップ他)と市民向けブック制作・デザイン(埼玉県和光市)
- 産業振興マスタープラン策定(東京都西東京市)
- 既成市街地地区まちづくり支援・構想策定支援・ガイドライン策定支援(東京都新宿区)
- 地域住民拠点施設(活性化施設)の整備計画策定・設計・監理(宮城県加美町)
- 阿蘇地域振興デザインセンター中期計画策定業務(熊本県阿蘇地域)
- 地方創生総合戦略及び人口ビジョンの策定(徳島県佐那河内村)
- 遊休公用地活用のための整備・活用方針策定支援(兵庫県神戸市有馬温泉)
- 景観まちづくり協定締結支援・修景補助事業運営・観光施設設計監理(群馬県草津町草津温泉)
- まちなみ協定締結支援・修景事業支援・街なみ環境整備事業運営(群馬県みなかみ町水上温泉)
- まちづくり計画策定と観光活性化施設デザイン・設計(兵庫県豊岡市城崎温泉)
- ワークショップによるコミュニティ計画策定と地域づくり団体支援事業運営(福岡県上毛町)

工夫した点や苦労した点

ある到達点(計画策定や施設建設)へ至るために、そのプロセスデザインを自治体スタッフや住民代表者と事前によく練ります。ここに十分時間をかけることがポイントの一つです。1~2年をかけて、最初のわかりやすい成果が現れ、住民・関係者が一つの成功体験をすることがその後の持続性のためには重要で、その最初の目標点をどこに定めるかが地域によって様々であり、よく検討しておくことが大切です。

ひとことPR

地域の中にお邪魔させてもらい、地場産のおいしい食べ物やお酒をいただきながら、住民の方々と膝を突き合わせてざっくばらんなお話しをすることが、人生最大の喜びであり、それをスタートとして何か新しい仕組みや空間を地域社会のために一緒に作っていくことをライフワークとしています。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
地場産品発掘・販路開拓	○ 中心市街地活性化
6次産業化	○ 空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	○ 商店街活性化
地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	地球温暖化対策
○ 集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
○ 建築物耐震化・長寿命化	○ DMOとの連携
地区防災計画	○ インバウンド対応
BCP	○ 民泊・農泊
避難所運営	○ 地域おこし協力隊の推進
感染症対策	その他
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
○ 滞在・活動の場づくり	○ 起業・事業承継等支援
○ 地域おこし協力隊の推進	○ 空地・空家対策
○ 地域と関係人口の協働	○ 地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	○ 人材研修
働き方改革	ふるさと教育
子どもの貧困対策	○ 地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	地域ブランディング
官民連携(PPP・PFI)	メディア活用策
自治体間連携	効果の把握・評価
○ 住民参加	その他
その他	

関連ホームページ

(株) 梵まちづくり研究所	www.bon-ken.com

連絡先

メールアドレス	yoshida-m〔アットマーク〕 bon-ken.com	会社電話:03-3207-4192
---------	-------------------------------	-------------------

※メールを送る際には〔アットマーク〕を『@』に変えてください。